

# 事務事業評価シート（1/2）

1頁  
令和 5年 8月15日  
10時49分51秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001152005 高齢福祉課高齢福祉係

事務事業 02674 敬老事業

電話番号 0566-71-2223

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	002	12地域福祉			
施策の方針	002	高齢者の地域生活支援（地域包括ケアシステム）			
事務事業	003	敬老事業			
事業期間	昭和57年度～				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	老人福祉法第5条、安城市敬老金等支給要綱				
備考					

## 【事業分析】

対象	多年にわたり社会の発展に貢献してきた高齢者に対し
目的	祝金などを支給することにより、長寿を祝福し、敬老精神の高揚を図る
手段	88歳及び100歳以上の高齢者にサルビアギフト券・花束を贈呈し、長寿をお祝いします。また、市内在住の高齢者の方にはデンパーク無料入場券を配布する。
事務内容	サルビアギフト券・花束を購入して対象者に発送。デンパーク入場券の配布から精算を行う。また、市内最高齢者を市長が表敬訪問するため手配します。

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	14,386	13,778	14,853
事業費	10,294	9,950	12,213
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	10,294	9,950	12,213
人件費計	4,092	3,828	2,640
正規（人）	0.62	0.58	0.40
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	88歳・100歳以上の高齢者にサルビア商品券・花束を贈呈（758人） デンパーク入園招待（5,355人） フォトコンテスト	88歳・100歳以上の高齢者にサルビア商品券・満100歳の方には花束も贈呈（714人） デンパーク入園招待（5,212人） フォトコンテスト（1回）	88歳・100歳以上の高齢者にサルビア商品券・花束を贈呈（970人） デンパーク入園招待（5,360人）

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

2 頁  
令和 5年 8月15日  
10時49分51秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152005 高齢福祉課高齢福祉係  
事務事業 02674 敬老事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
長寿のお祝いを受けた 高齢者数	人	830.00	850.00	970.00
		758.00	714.00	0.00
デンパークへの招待者 数	人	4,200.00	4,300.00	5,360.00
		5,355.00	5,212.00	0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	国、県は100歳の方だけを対象とした事業です。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	2
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	令和3年度から80歳以上の高齢者への祝品は廃止しました。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	団塊の世代が後期高齢者に到達し今まで以上のペースで増加します		
4 効率性	事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	令和3年度から80歳以上の祝品を廃止しました。		
5 公平性	事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	今後も環境の変化に対応していく必要があります。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	令和3年度から80歳以上の高齢者への祝品は廃止したが節目の年齢におけるお祝いは継続して実施します。しかしながら、国や県の事業と対象者が違っており、わかりにくいため統一していきます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

3頁  
令和 5年 8月15日  
10時49分51秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001152005 高齢福祉課高齢福祉係

事務事業 02675 老人クラブ活動支援事業

電話番号 0566-71-2223

## 【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	002	12地域福祉		
施策の方針	002	高齢者の地域生活支援（地域包括ケアシステム）		
事務事業	004	老人クラブ活動支援事業		
事業期間	昭和39年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業	しごとづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市老人クラブ活動事業運営要綱、安城市老人クラブ事業補助金交付要綱			
備考				

## 【事業分析】

対象	老人クラブの会員が
目的	老後の生活を健全で豊かなものにできるようになります。
手段	概ね60歳以上の高齢者で構成する老人クラブが行う活動（会員の教養の向上、健康の増進、レクリエーション、地域社会との交流など）に要する経費を補助することで、高齢者の老後の生活を健全で豊かなものにし福祉の増進を図ります。
事務内容	市老人クラブ連合会の運営補助、各老人クラブの補助金交付申請及び実施報告を受付、補助金の交付を決定し支給します。

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	21,674	21,126	20,886
事業費	19,100	18,552	18,906
国庫支出金	0	0	0
県支出金	3,046	2,887	3,017
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	16,054	15,665	15,889
人件費計	2,574	2,574	1,980
正規（人）	0.39	0.39	0.30
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	老人クラブ補助金（単位クラブ・憩の家）の受付・交付（97クラブ・85施設） 説明会の開催（3回） 市老人クラブ連合会（市老連）行事の補助（7回） 市老連補助金交付（1回）	老人クラブ補助金（単位クラブ・憩の家）の受付・交付（94クラブ・82施設） 説明会の開催（3回） 市老人クラブ連合会（市老連）行事の補助（7回） 市老連補助金交付（1回）	老人クラブ補助金（単位クラブ・憩の家）の受付・交付（92クラブ・81施設） 説明会の開催（3回） 市老人クラブ連合会（市老連）行事の補助（7回） 市老連補助金交付（1回）

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152005 高齢福祉課高齢福祉係  
事務事業 02675 老人クラブ活動支援事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
老人クラブ会員数	人	10,000.00 9,770.00	10,000.00 9,180.00	10,000.00 0.00
老人クラブ団体数	クラブ	100.00 97.00	100.00 94.00	100.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	国・県の支援もあるが地域社会との交流から市が主体的に支援する		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	老後の生活を豊かなものにしいたいと考える高齢者が増えています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	働く高齢者が増えています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	コロナ禍の中、会議の書面開催など改善に取り組んでいます。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	近隣市と同等な事業規模です。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	高齢者の老後を健全で豊かなものにするため、会員の教養の向上、健康の増進、レクリエーション、地域社会との交流を総合的に実施できるように支援していきます。また、老人クラブの高齢化により役員の担い手が減少しているため、補助金などの申請を見直します。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

5頁  
令和 5年 8月15日  
10時49分51秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152005 高齢福祉課高齢福祉係  
事務事業 02676 シルバー人材センター支援事業

電話番号 0566-71-2223

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	002	12地域福祉		
施策の方針	002	高齢者の地域生活支援（地域包括ケアシステム）		
事務事業	005	シルバー人材センター支援事業		
事業期間	昭和56年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業	しごとづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市高齢者生きがいセンターの設置及び管理に関する条例、安城市高齢者就業機会確保事業補助金交付要綱 令和4年10月に安城市高齢者生きがいセンターが総合福祉センターに移転した。			
備考				

## 【事業分析】

対象	自らの生きがいの充実や地域社会の発展に貢献したいと望んでいる高齢者に、臨時的かつ短期的な仕事等を提供するシルバー人材センターに対して
目的	より適正な運営をしていけるように支援していきます。
手段	シルバー人材センターが行う高齢者就業機会確保事業に要する経費に対して補助金を交付します。合わせて、高齢者生きがいセンターの運営・管理をシルバー人材センターに委託します。
事務内容	協定の締結、市補助金の申請受付及び決定処理

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	26,632	88,281	25,836
事業費	24,256	84,585	24,186
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	24,256	84,585	24,186
人件費計	2,376	3,696	1,650
正規（人）	0.36	0.56	0.25
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	協定締結（1回） 指定管理委託料及び運営費補助金支払い（1回） 事業進捗管理（随時）	協定締結（1回） 指定管理委託料及び運営費補助金支払い（1回） 事業進捗管理（随時） 協定の見直し（1回）	協定締結（1回） 指定管理委託料及び運営費補助金支払い（1回） 事業進捗管理（随時） 指定管理の更新（1回）

# 事務事業評価シート（2/2）

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152005 高齢福祉課高齢福祉係  
事務事業 02676 シルバー人材センター支援事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
シルバー人材センター 会員数	人	1,078.00 1,096.00	1,078.00 1,068.00	1,078.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	国・県からの支援もあるが市が主体的に支援します。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	人手不足のため元気な高齢者に対する役割は大きくなっています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	令和4年度は事務所の移転もあり目標には届きませんでした。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	地域に出張して入会説明会を開催するなど改革に取り組んでいます		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	近隣市と比較して自主事業が充実しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	働く元気な高齢者の増加は、少子高齢化問題の一つの解決の答えでもありますので、自らの生きがいの充実や地域社会の発展に貢献したいと望んでいる高齢者に対して、臨時的かつ短期的な仕事などを提供しているシルバー人材センターを支援していきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート ( 1 / 2 )

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001152005 高齢福祉課高齢福祉係

事務事業 02677 高齢者在宅生活支援事業

電話番号 0566-71-2223

**【基本情報】**

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目(施策)	002	12地域福祉		
施策の方針	002	高齢者の地域生活支援(地域包括ケアシステム)		
事務事業	006	高齢者在宅生活支援事業		
事業期間	昭和52年度 ~			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市高齢者外出支援サービス事業実施要綱、安城市人にやさしい住宅リフォーム事業実施要綱ほか			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・高齢者外出支援サービス事業 ・高齢者家具転倒防止器具取付事業 ・高齢者軽度生活援助事業 ・高齢者寝具乾燥事業 ・高齢者住宅改修支援事業 ・高齢者等日常生活用具給付貸与事業 ・高齢者ホームヘルパー派遣事業 ・ねたきり高齢者等支援事業 ・高齢者孤立防止事業			

**【事業分析】**

対象	高齢者が
目的	住み慣れた自宅で、できるだけ長く生活することができます。
手段	ひとり暮らし高齢者等に日常生活上の支援として、草取りや家事援助、寝具乾燥、火災警報器・杖の給付、介護支援ベッド貸与、住環境改善のためのリフォーム費助成、家具転倒器具の取付、介護・一般タクシー費用助成等を行うとともに、孤立防止策として、福祉電話訪問、老人クラブによる友愛訪問、緊急通報装置貸与を行う。また、介護人の支援として、ねたきり高齢者の介護人への手当支給等を行う。
事務内容	各事業利用の申請受付、利用決定業務、委託事業の契約業務、事業管理、報告書受理、委託事業者への委託費用支払、有償事業の利用者負担金の請求業務

**【コスト】**

(単位:千円)

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	100,804	99,064	109,199
事業費	85,492	86,392	93,161
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	845	735	816
一般財源	84,647	85,657	92,345
人件費計	15,312	12,672	16,038
正規(人)	2.32	1.92	2.43
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
<b>【事務事業活動実績】</b>	広報等周知(1回/事業)、事業利用申請受付・決定業務(随時)、委託契約業務(1回/事業)、事業管理、報告書受理、委託等費用支払(1回~随時/事業)有償事業の利用者負担金の請求業務(事業により毎月)	広報等周知(1回/事業)、事業利用申請受付・決定業務(随時)、委託契約業務(1回/事業)、事業管理、報告書受理、委託等費用支払(1回~随時/事業)有償事業の利用者負担金の請求業務(事業により毎月)	広報等周知(1回/事業)、事業利用申請受付・決定業務(随時)、委託契約業務(1回/事業)、事業管理、報告書受理、委託等費用支払(1回~随時/事業)有償事業の利用者負担金の請求業務(事業により毎月)

# 事務事業評価シート（2/2）

8頁  
令和 5年 8月15日  
10時49分51秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152005 高齢福祉課高齢福祉係  
事務事業 02677 高齢者在宅生活支援事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
高齢者軽度生活援助事業 年間延利用者数	人	1,250.00	1,250.00	1,250.00
		1,166.00	1,244.00	0.00
高齢者外出サービス事業 利用者数	人	660.00	1,500.00	1,700.00
		806.00	1,771.00	0.00
在宅ねたきり高齢者等 介護人手当受給者数	人	590.00	590.00	590.00
		507.00	538.00	0.00
緊急通報装置設置台数	台	432.00	432.00	432.00
		434.00	430.00	0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	介護保険サービスを補完する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	提供するサービス量が年々増加しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	項目によって目標に未達だが全体としてサービス量は増えています		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	令和3年度から一般タクシーの利用助成制度を開始しました。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	近隣市と同程度のサービス水準です。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	高齢者人口の増加とともに、援助を必要とする方が増えていますので継続としますが、介護予防・日常生活支援総合事業におけるサービスの創出に合わせて、軽度生活援助事業縮小の検討を引き続き行うとともに、必要な人に必要なサービスが届くよう、制度の見直しを行います。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。



# 事務事業評価シート ( 1 / 2 )

9頁  
令和 5年 8月15日  
10時49分51秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001152005 高齢福祉課高齢福祉係

事務事業 02678 高齢者住宅等安心確保事業

電話番号 0566-71-2223

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目(施策)	002	12地域福祉			
施策の方針	002	高齢者の地域生活支援(地域包括ケアシステム)			
事務事業	007	高齢者住宅等安心確保事業			
事業期間	平成7年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	介護保険特会	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	安城市高齢者世話付住宅援助員派遣事業実施要綱				
備考					

## 【事業分析】

対象	シルバーハウジングに居住する高齢者が
目的	自立して安全かつ快適な生活を営むことができるようになります。
手段	シルバーハウジングに居住する高齢者に対して、生活援助員を派遣し生活指導、相談、安否確認、一時的家事援助、緊急時の対応等のサービスを提供し、高齢者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう在宅生活の支援を図ります。
事務内容	シルバーハウジング入居に関する説明、生活援助員手数料の徴収、委託契約事務・実績報告受理

## 【コスト】

(単位:千円)

	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額
トータルコスト	12,698	13,917	14,510
事業費	12,170	12,795	13,784
国庫支出金	4,667	4,907	5,288
県支出金	2,333	2,453	2,644
地方債	0	0	0
その他	2,381	2,502	2,694
一般財源	2,789	2,933	3,158
人件費計	528	1,122	726
正規(人)	0.08	0.17	0.11
その他経費	0	0	0

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
【事務事業活動実績】	生活援助員派遣業務委託契約(1回) 事業進捗管理(随時) 実施報告受理(毎月) 委託費支払(3回) 利用手数料徴収(1回)	生活援助員派遣業務委託契約(1回) 事業進捗管理(随時) 実施報告受理(毎月) 委託費支払(3回) 利用手数料徴収(1回)	生活援助員派遣業務委託契約(1回) 事業進捗管理(随時) 実施報告受理(毎月) 委託費支払(3回) 利用手数料徴収(1回)
	シルバーハウジング入退去管理(随時)	シルバーハウジング入退去管理(随時)	シルバーハウジング入退去管理(随時)

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001152005 高齢福祉課高齢福祉係  
事務事業 02678 高齢者住宅等安心確保事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
生活援助員の利用者数	世帯	56.00 55.00	56.00 53.00	56.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	県営シルバーハウジングの入居者に対して援助員を派遣しています		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	入居者を公募すると直ぐに応募があります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標値には届かなかったが入居世帯には全て提供しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	介護保険特会に組み込み、国費・県費を頂くようにしました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	近隣市と同等のサービス水準を提供しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	今後も、シルバーハウジング3か所に居住する高齢者が、安全かつ快適に自立した生活ができるよう、市社会福祉協議会に委託している生活援助員による生活相談や一時的な家事援助、安否確認等を継続していきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

11頁  
令和 5年 8月15日  
10時49分51秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152005 高齢福祉課高齢福祉係  
事務事業 02682 在宅ねたきり高齢者等おむつ費助成事業

電話番号 0566-71-2223

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	002	12地域福祉			
施策の方針	002	高齢者の地域生活支援（地域包括ケアシステム）			
事務事業	009	在宅ねたきり高齢者等おむつ費助成事業			
事業期間	昭和54年度～				
実施方法	直営				
会計区分	介護保険特会	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	安城市在宅ねたきり高齢者等介護人手当支給及びおむつ費用助成利用券交付要綱				
備考					

## 【事業分析】

対象	在宅で介護している介護者が
目的	経済的に負担が軽くなり、在宅介護を継続できます。
手段	在宅ねたきり介護人手当受給者で、おむつが必要な人を介護している場合におむつ費助成利用券を交付します。
事務内容	申請受付、申請書確認、決定通知、現況確認した後に民生委員よりおむつ券を交付します。

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	36,037	38,502	40,584
事業費	35,047	36,852	38,472
国庫支出金	4,172	4,478	1,830
県支出金	2,086	2,239	915
地方債	0	0	0
その他	26,297	27,460	34,635
一般財源	2,492	2,675	1,092
人件費計	990	1,650	2,112
正規（人）	0.15	0.25	0.32
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	安城市薬剤師会との業務委託契約（1回） 現況届受理（1回） 民生委員への確認依頼（2回） 取扱手数料及びおむつ券利用額支払（12回）	安城市薬剤師会との業務委託契約（1回） 現況届受理（1回） 民生委員への確認依頼（2回） 取扱手数料及びおむつ券利用額支払（12回）	安城市薬剤師会との業務委託契約（1回） 現況届受理（1回） 民生委員への確認依頼（2回） 取扱手数料及びおむつ券利用額支払（12回）

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001152005 高齢福祉課高齢福祉係  
事務事業 02682 在宅ねたきり高齢者等おむつ費助成事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
おむつ費用助成利用券 利用人数	人	480.00 481.00	580.00 519.00	580.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	介護施設入所者は保険で賄えるが在宅は実費になります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	高齢者の増加に伴い在宅で介護する方も増加しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標には達しなかったが意図したとおりに推移しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	コロナ禍の中、おむつ券の交付を非対面でも可能にしました。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	近隣市と同等なサービス水準です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	寝たきり状態になっても在宅を希望する高齢者が増加しています。そこで、おむつの必要な高齢者を介護している人の労をねぎらい、福祉の増進を図るため、今後もおむつ費用の助成利用券を交付事業を継続します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

13頁  
令和 5年 8月15日  
10時49分51秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152005 高齢福祉課高齢福祉係  
事務事業 02683 成年後見制度利用支援事業

電話番号 0566-71-2223

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	002	12地域福祉			
施策の方針	002	高齢者の地域生活支援（地域包括ケアシステム）			
事務事業	010	成年後見制度利用支援事業			
事業期間	平成15年度～				
実施方法	直営				
会計区分	介護保険特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	民法7条、第11条、第12条第2項、第14条第1項、第16条第1項、第876条の9第1項				
備考					

## 【事業分析】

対象	認知症等により判断能力が不十分な高齢者が
目的	本人の財産や権利を守ることができ、安心した生活を送ることができます。
手段	65歳以上の高齢者で認知症等により判断能力が不十分なため、成年後見などの制度を利用するに当たり、本人の配偶者及び二親等内の親族がいない人等に対し、市長が代わって申し立てをします。また、申立費用及び制度の利用に係る費用を助成します。
事務内容	相談、家庭裁判所への申し立て手続きの支援、申立書の作成・提出、費用・報酬助成の受付と支給

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	1,386	1,773	3,054
事業費	264	453	2,064
国庫支出金	102	174	795
県支出金	51	87	397
地方債	0	0	0
その他	51	87	397
一般財源	60	105	475
人件費計	1,122	1,320	990
正規（人）	0.17	0.20	0.15
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	市長申立の相談（随時） 本人の状況確認（随時） 申立手続（申立が妥当な場合）	市長申立の相談（随時） 本人の状況確認（随時） 申立手続（申立が妥当な場合） 審判請求費用・報酬の助成（随時）	市長申立の相談（随時） 本人の状況確認（随時） 申立手続（申立が妥当な場合） 審判請求費用・報酬の助成（随時）

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152005 高齢福祉課高齢福祉係  
事務事業 02683 成年後見制度利用支援事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
市長申し立て件数	件	2.00	2.00	2.00
		1.00	4.00	0.00
報酬助成件数	件	0.00	2.00	2.00
		0.00	2.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	検察を除けば本人や親族の代わりに申し立てできる唯一の機関です		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	単身の認知症高齢者が増加しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	身寄りのいない高齢者が増加しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	令和2年度に「安城市成年後見制度利用促進計画」を策定しました		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	近隣市と同程度のサービス水準です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	成年後見制度は、認知症の高齢者が増加することが見込まれるので、維持・継続が必要である。また、令和2年度に「安城市成年後見制度利用促進計画」を策定しました、令和4年度は中核機関を社会福祉協議会に委託して設置しました。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート ( 1 / 2 )

15 頁  
令和 5年 8月15日  
10時49分51秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001152005 高齢福祉課高齢福祉係

事務事業 02685 高齢者給食サービス事業

電話番号 0566-71-2223

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目(施策)	002	12地域福祉			
施策の方針	002	高齢者の地域生活支援(地域包括ケアシステム)			
事務事業	012	高齢者給食サービス事業			
事業期間	平成8年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	介護保険特会	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	安城市高齢者給食サービス事業実施要綱				
備考					

## 【事業分析】

対象	ひとり暮らし等高齢者が
目的	安否確認が取れるとともに、健康で自立した生活を送ることができます。
手段	対象となる高齢者(＊)に週7回以内で昼食の給食を配達し、栄養改善と安否確認を行います。 対象者... 65歳以上のひとり暮らし 70歳以上の高齢者のみの世帯 65歳以上のみの世帯で障害者または要介護者いる世帯 日中、65歳以上のみの独居または70歳以上のみとなる世帯 総合事業対象者
事務内容	委託契約事務、利用申請書受理、利用の決定、配達業者への依頼、利用開始、利用内容の変更や廃止など

## 【コスト】

(単位:千円)

	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額
トータルコスト	28,966	33,600	38,488
事業費	27,844	32,478	36,706
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	27,844	32,478	36,706
一般財源	0	0	0
人件費計	1,122	1,122	1,782
正規(人)	0.17	0.17	0.27
その他経費	0	0	0

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
【事務事業活動実績】	配食数84,375食 利用者数 特別食41人 普通食617人	配食数98,418食 利用者数 特別食41人 普通食678人	配食数79,000食 利用者数 特別食60人 普通食600人

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001152005 高齢福祉課高齢福祉係  
事務事業 02685 高齢者給食サービス事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
一般食の利用者数（年度末時点）	人	600.00 617.00	600.00 678.00	600.00 0.00
特別食の利用者数（年度末時点）	人	60.00 41.00	60.00 41.00	60.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	安価で見守りを目的とした配食事業は市が実施するしかありません		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	調理が出来ないひとり暮らし高齢者が増加しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	利用回数は目標を上回ったが特別食の利用人数が目標に未達でした		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	実績確認に利用者員を押印させるようにしました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	近隣市と同等なサービス水準です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	事業利用にあたり、介護支援専門員や地域包括支援センターがかかわり、利用者の様態を評価しているため、適切な利用ができています。また、安否確認や孤立防止、栄養改善にも有効な事業ですので、継続とします。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。



# 事務事業評価シート ( 1 / 2 )

17頁  
令和 5年 8月15日  
10時49分51秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001152005 高齢福祉課高齢福祉係

事務事業 02688 高齢者社会参加促進事業

電話番号 0566-71-2223

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目(施策)	002	12地域福祉		
施策の方針	002	高齢者の地域生活支援(地域包括ケアシステム)		
事務事業	013	高齢者社会参加促進事業		
事業期間	平成26年度 ~			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	あんくるバス無料乗車証交付要綱			
備考				

## 【事業分析】

対象	後期高齢者が
目的	あんくるバスを利用して外出しやすくなります。
手段	後期高齢者のあんくるバス乗車料金を助成することにより、後期高齢者が市内での社会活動に参加しやすくします。
事務内容	広報等による事業のPR、利用パスケース作成、対象者の抽出、パスケースの交付、利用料請求処理、再交付・返納受付

## 【コスト】

(単位:千円)

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	15,644	18,696	19,196
事業費	14,786	17,574	18,074
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	14,786	17,574	18,074
人件費計	858	1,122	1,122
正規(人)	0.13	0.17	0.17
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	広報への掲載(1回) 対象者の抽出(12回) パスケースの交付(12回) 高齢者等外出実態調査委託(1回)	広報への掲載(1回) 対象者の抽出(12回) パスケースの交付(12回) 高齢者等外出実態調査委託(1回)	広報への掲載(1回) 対象者の抽出(12回) パスケースの交付(12回) 高齢者等外出実態調査委託(1回)

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152005 高齢福祉課高齢福祉係  
事務事業 02688 高齢者社会参加促進事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
あんくるバス後期高齢者月平均利用者数	人	14,950.00 11,494.00	14,950.00 13,455.00	14,950.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	後期高齢者のあんくるバス無料乗車制度は市独自の制度です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	後期高齢者にとって重要な移動手段となっています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	コロナ禍で外出を控える高齢者が増加しました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	再発行を支所においても受け付けできるようにしました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	近隣市と同程度のサービス水準です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	移動手段を持たない高齢者にとって外出を促す有効な手段です。社会の高齢化による75歳以上高齢者の増加はもとより、高齢者の自動車事故に関する情勢から自動車を運転しなくなる高齢者も増加すると予想されます。高齢者の外出を支援することで、自宅への引きこもりを予防するとともに、いつまでも地域社会とのつながりを持つための有効な事業であるため、継続実施します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

19頁  
令和 5年 8月15日  
10時49分51秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001152005 高齢福祉課高齢福祉係

事務事業 02689 老人保護措置事業

電話番号 0566-71-2223

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	003	13 社会保障			
施策の方針	001	13 社会保障その他			
事務事業	031	老人保護措置事業			
事業期間	昭和40年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	老人福祉法、入所判定事務取扱				
備考					

## 【事業分析】

対象	居宅において養護を受けることが困難な65歳以上の者が、
目的	養護老人ホームに入所し、養護を受けられるようになります。
手段	65歳以上で、環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難と判定された者について、養護老人ホームへ入所させ養護するとともに、その者が自立した日常生活を営み、社会的活動に参加するために必要な指導及び訓練その他の援助を行い、高齢者の福祉の増進を図ります。
事務内容	養護老人ホーム等への入所相談、入所判定委員会開催、施設関係者面接、入所手続、費用徴収額の算定及び通知、費用徴収請求、各老人ホームからの請求に対する措置費の支払い、入所継続判定、退所手続

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	98,007	97,271	104,317
事業費	95,697	95,159	102,337
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	11,076	12,267	13,200
一般財源	84,621	82,892	89,137
人件費計	2,310	2,112	1,980
正規（人）	0.35	0.32	0.30
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none"><li>生活困難な高齢者の措置</li><li>入所判定委員会</li><li>入所相談及び対応</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>生活困難な高齢者の措置</li><li>入所判定委員会</li><li>入所相談及び対応</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>生活困難な高齢者の措置</li><li>入所判定委員会</li><li>入所相談及び対応</li></ul>

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001152005 高齢福祉課高齢福祉係  
事務事業 02689 老人保護措置事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
養護率（養護を受けられている者 ÷ 措置者）	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	老人保護措置は市の責務です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	環境的・経済的に保護措置が必要な高齢者がいます。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	真に保護が必要な方に対して、確実に措置に繋がっています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	入所判定委員会を年度当初に開催するように変更しました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	近隣市と同等なサービス提供ができています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	高齢者の増加、単身世帯の増加、家族機能の低下等により措置入所を必要とする事例が増加する可能性があります。住み慣れた自宅で生活を続けられるよう支援するなかで、やむを得ない事由により措置入所を必要とするケースには速やかな対応が必要です。関係機関と連携をして対応していきます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート ( 1 / 2 )

1 頁  
令和 5 年 8 月 15 日  
10 時 51 分 58 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001152015 高齢福祉課地域支援係

事務事業 02690 認知症高齢者見守り事業

電話番号 0566-71-2264

## 【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	004	きずな			
項目 ( 施策 )	002	1 2 地域福祉			
施策の方針	002	高齢者の地域生活支援 ( 地域包括ケアシステム )			
事務事業	014	認知症高齢者見守り事業			
事業期間	平成 14 年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	介護保険特会	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	介護保険法第 1 1 5 条の 4 5 第 3 項第 2 号、徘徊高齢者家族支援事業実施要綱、見つかるつながるネットワーク				
備考					

## 【事業分析】

対象	徘徊高齢者が、 の成果で認知症高齢者を介護している介護者の介護負担が、
目的	早く見つかります。 軽くなります。
手段	《所在確認用端末の貸出》徘徊高齢者を介護し、GPS 付き所在確認用端末機の使用を希望する人に貸し出します。 。位置情報提供料は市が負担します。 《見つかるつながるネットワーク》徘徊するおそれのある高齢者を事前に登録し、登録番号が明記してあるシールを持ち物等に貼ります。行方不明時には関係機関へメール、Fax などで情報提供します。
事務内容	申し込み、利用決定、端末機の手配、貸し出し、返却、業者との連絡調整など 事前登録受付、シール配布、関係機関との調整連絡、情報提供、認知症高齢者等個人賠償責任保険に関する事務など

## 【コスト】

( 単位 : 千円 )

	令和 3 年度 決算額	令和 4 年度 決算額	令和 5 年度 予算額
トータルコスト	5,429	5,619	6,163
事業費	677	867	1,411
国庫支出金	139	187	351
県支出金	70	93	175
地方債	0	0	0
その他	385	475	675
一般財源	83	112	210
人件費計	4,752	4,752	4,752
正規 ( 人 )	0.72	0.72	0.72
その他経費	0	0	0

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none"><li>・認知症高齢者捜索声かけ模擬訓練の実施</li><li>・見つかるつながるネットワークの活用</li><li>・所在確認端末機の貸出</li><li>・認知症高齢者等個人賠償責任保険の運用</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・認知症高齢者捜索声かけ模擬訓練の実施</li><li>・見つかるつながるネットワークの活用</li><li>・所在確認端末機の貸出</li><li>・認知症高齢者等個人賠償責任保険の運用</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・認知症高齢者捜索声かけ模擬訓練の実施</li><li>・見つかるつながるネットワークの活用</li><li>・所在確認端末機の貸出</li><li>・認知症高齢者等個人賠償責任保険の運用</li></ul>

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

2 頁  
令和 5 年 8 月 15 日  
10 時 51 分 58 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001152015 高齢福祉課地域支援係  
事務事業 02690 認知症高齢者見守り事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
所在確認用端末機利用 人数	人	35.00	35.00	35.00
		44.00	33.00	0.00
事前登録者数 (累計)	人	320.00	320.00	360.00
		314.00	348.00	0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	認知症高齢者が今後も増加し続けるため、必要なサービスです。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	認知症高齢者の増加に伴い、徘徊者も増加しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	認知症高齢者の家族等への周知・啓発に努めます。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	適宜搜索ネットワークの拡大等見直しを行っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市でも類似するサービスを実施しています。		

## 【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント ( 4 0 0 文字 )	GPSの貸与と併せ、見つかるつながるネットワークにより、高齢者の見守りについて重層的な支援を実施しました。令和 2 年度から導入した認知症高齢者等個人賠償責任保険についても認知され始めたこともあり登録者数も着実に増えています。 認知症の高齢者は今後も増え続けることが予想されるため、既存の体制の検証・見直しに加えて新たな情報技術にも目を向け、見守り体制の一層の充実を図っていきます。

## 【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント ( 4 0 0 文字 )	本事業においては、2 次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

3頁  
令和 5年 8月15日  
10時51分58秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152015 高齢福祉課地域支援係  
事務事業 02691 地域包括支援センター運営事業

電話番号 0566-71-2264

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	002	12地域福祉			
施策の方針	002	高齢者の地域生活支援（地域包括ケアシステム）			
事務事業	015	地域包括支援センター運営事業			
事業期間	平成18年度～				
実施方法	全部委託				
会計区分	介護保険特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業	しごとづくり	マニフェスト		地方創生	健幸
根拠法令等	介護保険法第115条の46、地域支援事業実施要綱、安城市地域包括支援センターの設置及び事業実施要綱				
備考					

## 【事業分析】

対象	地域住民が、
目的	住み慣れた地域で安心して生活を継続できます。
手段	高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるように、包括的、継続的な支援を行う地域包括ケアを実現することを目的として、包括的支援事業（介護予防ケアマネジメント業務、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント支援業務）を実施するとともに、予防給付の対象となる要支援者が介護予防サービス等の適切な利用ができるよう介護予防支援事業を行います。
事務内容	委託契約業務、虐待困難事例などの支援、業務報告の確認、調整、地域ケア会議の協力など

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	154,787	163,677	194,251
事業費	152,939	161,829	192,073
国庫支出金	79,267	83,874	90,148
県支出金	29,323	31,026	36,574
地方債	0	0	0
その他	29,932	31,670	38,652
一般財源	14,417	15,259	26,699
人件費計	1,848	1,848	2,178
正規（人）	0.28	0.28	0.33
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	・すべての中学校区（8中学校区）において地域包括支援センターを運営 ・高齢者に関する総合相談、権利擁護業務（虐待含む）、ケアマネジメント業務等を実施	・すべての中学校区（8中学校区）において地域包括支援センターを運営 ・高齢者に関する総合相談、権利擁護業務（虐待含む）、ケアマネジメント業務等を実施	・すべての中学校区（8中学校区）において地域包括支援センターを運営 ・高齢者に関する総合相談、権利擁護業務（虐待含む）、ケアマネジメント業務等を実施

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001152015 高齢福祉課地域支援係  
事務事業 02691 地域包括支援センター運営事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
地域包括支援センター 新規設置数	箇所	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00
相談件数（平成 3 0 年 度から新規目標に設定 ）	件数	40,000.00	40,000.00	40,000.00
		64,355.00	68,819.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	介護保険法に基づき市が設置することとしています。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	高齢者や介護認定者数の増加に伴い、ニーズが増加しています。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標を上回る実績を上げています。		
4 効率性	事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	地域包括支援センターの評価を毎年行い、業務を見直しています。		
5 公平性	事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	すべての自治体で地域包括支援センターを設置しています。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント ( 4 0 0 文字 )	<p>更なる高齢化の進展や社会構造の変化により、高齢者を取り巻く問題が複雑化・多様化する中で、地域包括支援センターを中心に伴走型の支援を行いました。併せて評価指標に基づき適宜業務改善を行っています。</p> <p>これからも個人や地域の課題の解決に尽力し、高齢者が住み慣れた地域で生活できるように支援機関が協働して取り組んでいきます。</p>

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント ( 4 0 0 文字 )	<p>本事業においては、2 次評価を実施していません。</p>



# 事務事業評価シート ( 1 / 2 )

5 頁  
令和 5 年 8 月 15 日  
10 時 51 分 58 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001152015 高齢福祉課地域支援係

事務事業 02692 認知症サポーター養成事業

電話番号 0566-71-2264

## 【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	004	きずな			
項目 ( 施策 )	002	1 2 地域福祉			
施策の方針	002	高齢者の地域生活支援 ( 地域包括ケアシステム )			
事務事業	016	認知症サポーター養成事業			
事業期間	平成 19 年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	介護保険特会	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	介護保険法第 1 1 5 条の 4 5 第 3 項第 3 号、地域支援事業実施要綱 ( 厚生労働省 )				
備考					

## 【事業分析】

対象	市民が、
目的	認知症への理解を深め、適正な対応方法を知る人が増えることで認知症の人とその家族が安心して地域で生活できるようにします。
手段	一定の研修を受講したキャラバンメイトが認知症サポーター養成講座を開催して認知症サポーターを増やし、認知症に対する理解を広げます。
事務内容	キャラバンメイトの支援、講座の開催、周知、参加者募集、報告等

## 【コスト】

( 単位 : 千円 )

	令和 3 年度 決算額	令和 4 年度 決算額	令和 5 年度 予算額
トータルコスト	2,881	2,994	3,728
事業費	109	222	1,220
国庫支出金	42	86	470
県支出金	21	43	235
地方債	0	0	0
その他	21	43	235
一般財源	25	50	280
人件費計	2,772	2,772	2,508
正規 ( 人 )	0.42	0.42	0.38
その他経費	0	0	0

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーター養成講座の開催</li> <li>キャラバンメイト連絡会の開催</li> <li>小学生等を対象にしたサポーター養成講座の開催</li> <li>認知症サポーターステップアップ講座の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーター養成講座の開催</li> <li>キャラバンメイト連絡会の開催</li> <li>小学生等を対象にしたサポーター養成講座の開催</li> <li>認知症サポーターステップアップ講座の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポーター養成講座の開催</li> <li>キャラバンメイト連絡会の開催</li> <li>小学生等を対象にしたサポーター養成講座の開催</li> <li>認知症サポーターステップアップ講座の開催</li> </ul>

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001152015 高齢福祉課地域支援係  
事務事業 02692 認知症サポーター養成事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
認知症サポーター養成講座の開催回数	回	25.00 11.00	25.00 23.00	25.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	より地域に根差した取り組みを市で進める必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	認知症の対応に不安を感じる介護者は一定割合存在します。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	コロナ禍の影響を受け、中止した講座もありました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	対象者を広げるなど実施の効果を高めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市においても同様の事業を実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	町内会や職域の集まり、学校、サロン等で認知症サポーター養成講座を開催し、子どもから高齢者までより多くの住民が認知症サポーターになるように取組を強化しました。 認知症の人と家族が地域で安心して生活できる地域づくりのため、認知症に関する正しい理解の促進と情報提供を継続していきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001152015 高齢福祉課地域支援係

事務事業 02693 生活支援体制整備事業

電話番号 0566-71-2264

**【基本情報】**

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	002	12地域福祉			
施策の方針	002	高齢者の地域生活支援（地域包括ケアシステム）			
事務事業	017	生活支援体制整備事業			
事業期間	平成27年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	介護保険特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業	しごとづくり	マニフェスト		地方創生	健幸
根拠法令等	介護保険法第115条の4第2項第5号、地域支援事業実施要綱（厚生労働省）				
備考					

**【事業分析】**

対象	高齢者が、
目的	単に支える、支えられるという関係にとどまることなく、公的な介護保険サービスだけでなく、自助、互助による多様なサービスを選択しながら、いつまでも自分らしく住み慣れた地域で生活できるようになります。
手段	平成27年度介護保険法改正により、新たに生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）や協議体の設置等を通じて、市町村が中心となり生活支援・介護予防サービスが創出されるよう取り組みます。
事務内容	委託契約、協議体の設置と会議の開催、地域の生活支援の担い手や活動団体の把握、新しい活動の創出など

**【コスト】**

（単位：千円）

	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額
トータルコスト	57,340	56,985	63,013
事業費	56,548	56,193	62,287
国庫支出金	21,769	21,634	23,980
県支出金	10,885	10,817	11,990
地方債	0	0	0
その他	10,885	10,817	11,991
一般財源	13,009	12,925	14,326
人件費計	792	792	726
正規（人）	0.12	0.12	0.11
その他経費	0	0	0

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
<b>【事務事業活動実績】</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>生活支援コーディネーター及び協議体を8中学校区に設置（第2層）</li><li>市全体を対象とした生活支援コーディネーターを配置（第1層）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>生活支援コーディネーター及び協議体を8中学校区に設置（第2層）</li><li>市全体を対象とした生活支援コーディネーターを配置（第1層）</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>生活支援コーディネーター及び協議体を8中学校区に設置（第2層）</li><li>市全体を対象とした生活支援コーディネーターを配置（第1層）</li></ul>

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001152015 高齢福祉課地域支援係  
事務事業 02693 生活支援体制整備事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
生活支援ネットワーク 会議開催回数	回	16.00 31.00	16.00 34.00	16.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	介護保険法で市が実施することになっています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	介護保険サービスだけでは対応できないニーズがあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標を上回る実績を上げています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	地域包括支援センターやリハビリ職との連携を強化しました。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市でも同様の事業を実施しています。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント ( 4 0 0 文字 )	市で運営する協議体や、各地区社会福祉協議会の生活支援コーディネーターで協働しながら、生活支援団体相互の交流や支援機関である福祉事業所同士のネットワークづくりなどを行いました。 今後も日常生活を支援する体制の充実を目指し、多様な実施主体との連携を維持・強化する取組みを継続していきます。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント ( 4 0 0 文字 )	本事業においては、2 次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート ( 1 / 2 )

9頁  
令和 5年 8月15日  
10時51分58秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152015 高齢福祉課地域支援係  
事務事業 02694 在宅医療・介護連携推進事業

電話番号 0566-71-2264

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目(施策)	002	12地域福祉			
施策の方針	002	高齢者の地域生活支援(地域包括ケアシステム)			
事務事業	018	在宅医療・介護連携推進事業			
事業期間	平成27年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	介護保険特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業	しごとづくり	マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	介護保険法第115条の4第2項第4号、地域支援事業実施要綱(厚生労働省)				
備考					

## 【事業分析】

対象	医療と介護を必要とする高齢者が、
目的	医療と介護の切れ目のない提供体制が構築されることにより、いつまでも住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができるようになります。
手段	在宅医療と介護サービスの一体的な提供に向けて関係者の連携を強化するとともに、在宅医療に関する市民向けの啓発を行います。
事務内容	在宅医療・介護連携のための研修会の実施、多職種ワークショップの開催、市民向けフォーラムの開催、ICTを活用した情報連携の検討など

## 【コスト】

(単位:千円)

	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額
トータルコスト	26,934	26,650	31,693
事業費	23,700	23,416	27,139
国庫支出金	8,399	8,271	9,310
県支出金	4,200	4,135	4,655
地方債	0	0	0
その他	6,084	6,069	7,612
一般財源	5,017	4,941	5,562
人件費計	3,234	3,234	4,554
正規(人)	0.49	0.49	0.69
その他経費	0	0	0

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療・介護連携のための研修会の実施</li> <li>多職種ワークショップの開催</li> <li>市民等向けフォーラムの開催</li> <li>ICTを活用した情報連携の推進</li> <li>在宅医療サポートセンターの運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療・介護連携のための研修会の実施</li> <li>多職種ワークショップの開催</li> <li>市民等向けフォーラムの開催</li> <li>ICTを活用した情報連携の推進</li> <li>在宅医療サポートセンターの運営</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅医療・介護連携のための研修会の実施</li> <li>多職種ワークショップの開催</li> <li>市民等向けフォーラムの開催</li> <li>ICTを活用した情報連携の推進</li> <li>在宅医療サポートセンターの運営</li> </ul>

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

10 頁  
令和 5年 8月15日  
10時51分58秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152015 高齢福祉課地域支援係  
事務事業 02694 在宅医療・介護連携推進事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
在宅医療介護連携のための研修会、多職種ワークショップ参加者	のべ人数	950.00 570.00	950.00 595.00	950.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市が中心となり介護職と医療職の連携を推進する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	自宅での介護等を望む高齢者の割合は高水準で推移しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	コロナ禍の影響により中止した研修会等もありました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	ICTの活用等による多職種連携を進めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市でも同様の事業を実施しています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	在宅医療に係るまちかど講座の開催や、在宅医療ガイドブックの改定に取り組んで市民や専門職への周知・啓発を行いました。併せて「わたしノート」「専門職のためのACPマニュアル」の啓発を強化し、地域の中で患者の意思決定支援を進めました。また、市役所内に移動した在宅医療サポートセンターについてもPRを継続したことで、相談件数も徐々に増えています。 誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられる社会の実現のため、これからも在宅医療・介護の連携体制強化に取り組んでいきます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート ( 1 / 2 )

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001152015 高齢福祉課地域支援係

事務事業 02695 認知症施策推進事業

電話番号 0566-71-2264

## 【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	004	きずな			
項目 ( 施策 )	002	1 2 地域福祉			
施策の方針	002	高齢者の地域生活支援 ( 地域包括ケアシステム )			
事務事業	019	認知症施策推進事業			
事業期間	平成28年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	介護保険特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	健幸
根拠法令等	介護保険法第 1 1 5 条の 4 5 第 2 項第 6 号、地域支援事業実施要綱 ( 厚生労働省 )				
備考					

## 【事業分析】

対象	認知症の人とその家族が、
目的	安心して地域で生活できるようになります。
手段	認知症の容態に応じた適時・適切な医療、介護等の提供、地域の支援ができるよう体制を整えます。
事務内容	認知症初期集中支援チームの設置と運営、認知症ケアパスの修正、認知症カフェの支援等

## 【コスト】

( 単位 : 千円 )

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	20,489	19,155	13,877
事業費	18,179	16,845	11,633
国庫支出金	6,999	6,485	4,480
県支出金	3,499	3,243	2,239
地方債	0	0	0
その他	3,499	3,243	2,239
一般財源	4,182	3,874	2,675
人件費計	2,310	2,310	2,244
正規 ( 人 )	0.35	0.35	0.34
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症初期集中支援チームの運営及び検討委員会の開催</li> <li>・認知症カフェの支援</li> <li>・介護者支援</li> <li>・若年性認知症支援等</li> <li>・企業サポーター養成</li> <li>・認知症地域支援推進員研修の受講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症初期集中支援チームの運営及び検討委員会の開催</li> <li>・認知症カフェの支援</li> <li>・介護者支援</li> <li>・若年性認知症支援等</li> <li>・企業サポーター養成</li> <li>・認知症地域支援推進員研修の受講</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症初期集中支援チームの運営及び検討委員会の開催</li> <li>・認知症カフェの支援</li> <li>・介護者支援</li> <li>・若年性認知症支援等</li> <li>・企業サポーター養成</li> <li>・認知症地域支援推進員研修の受講</li> </ul>

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001152015 高齢福祉課地域支援係  
事務事業 02695 認知症施策推進事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
認知症初期集中支援チーム会議回数	回	12.00	0.00	0.00
		18.00	0.00	0.00
初期集中支援チームにより医療サービス等につながった人の割合	%	80.00	80.00	80.00
		100.00	100.00	0.00
(最上欄の指標は令和3年度評価まで)		0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	介護保険法等で実施主体は市と定められています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	認知症の対応に不安を感じる介護者は一定割合存在します。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標を上回る実績を上げています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	一部を県のモデル事業として補助金を活用しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市でも同様の取組が行われています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	町内会や職域の集まり、学校、サロン等で認知症サポーター養成講座を開催、認知症カフェの充実に向けて活動者交流会も開催しながら活動者の支援に努めました。 今後も増加することが予想される認知症高齢者等の介護者の心身の負担軽減のため、本人の医療・介護、生活支援のみならず介護者支援も含めた認知症ケアの向上を図っていきます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。



# 事務事業評価シート（1/2）

13頁  
令和 5年 8月15日  
10時51分59秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001152015 高齢福祉課地域支援係

事務事業 02696 地域包括ケア推進事業

電話番号 0566-71-2264

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	002	12地域福祉			
施策の方針	002	高齢者の地域生活支援（地域包括ケアシステム）			
事務事業	020	地域包括ケア推進事業			
事業期間	平成29年度～				
実施方法	直営				
会計区分	介護保険特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業	しごとづくり	マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	介護保険法第115条の48、第115条の45第2項第3号、地域支援事業実施要綱（厚生労働省）				
備考					

## 【事業分析】

対象	高齢者が、
目的	いつまでも住み慣れた地域で自分らしい生活を送ることができます。
手段	医療・介護・予防・生活支援・住まいに関する基盤体制を整え、地域包括ケアの推進に向け、地域の課題への取り組みや関係機関との調整を図ります。
事務内容	地域ケア会議（個別会議、地区会議、推進会議、協議会）の開催、関係機関との調整、周知

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	16,790	16,974	21,369
事業費	14,942	15,126	18,531
国庫支出金	2,972	2,995	7,134
県支出金	1,486	1,498	3,568
地方債	0	0	0
その他	8,709	8,844	3,567
一般財源	1,775	1,789	4,262
人件費計	1,848	1,848	2,838
正規（人）	0.28	0.28	0.43
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	・地域ケア会議（個別会議・地区会議・推進会議）及び、地域ケア推進協議会の開催 ・自立支援サポート会議の開催	・地域ケア会議（個別会議・地区会議・推進会議）及び、地域ケア推進協議会の開催 ・自立支援サポート会議の開催	・地域ケア会議（個別会議・地区会議・推進会議）及び、地域ケア推進協議会の開催 ・自立支援サポート会議の開催

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152015 高齢福祉課地域支援係  
事務事業 02696 地域包括ケア推進事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
地域ケア推進会議開催回数	回	10.00 9.00	10.00 9.00	10.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	介護保険法等で市が実施する事業と定められています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	高齢化の進行とともに今後ますますニーズが高まります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	前年度と同程度の開催回数を維持しました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	随時各会議の活性化と効率化に取り組んでいます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市でも同様の取組が行われています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	各地区の実態に合わせ個別会議を開催して課題の抽出を行ったことに加え、各中学校区毎で地区会議を開催して課題解決に取り組みました。 今後も地域ケア推進会議を核とする多職種の精力的な取組みにより、顔の見える関係づくりから地域課題の解決を目指していきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

15頁  
令和 5年 8月15日  
10時51分59秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152015 高齢福祉課地域支援係  
事務事業 02697 介護予防・生活支援サービス事業

電話番号 0566-71-2264

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	003	13 社会保障			
施策の方針	005	高齢者の生きがいと地域生活			
事務事業	020	介護予防・生活支援サービス事業			
事業期間	平成29年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	介護保険特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業	しごとづくり	マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	介護保険法第115条の4第1項第1号、地域支援事業実施要綱（厚生労働省）				
備考					

## 【事業分析】

対象	要支援認定者及びサービス事業対象者が、
目的	多様なサービスを選択し、自分らしく生活できるようになります。
手段	介護予防通所・訪問サービス、生活支援通所・訪問サービス、住民主体サービス、短期集中型介護予防サービス等様々な主体による予防サービスを提供します。
事務内容	各サービスの利用方法の事業者への周知、住民への周知、事業所の指定、短期集中型介護予防サービス委託・支払事務

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	280,059	304,830	403,944
事業費	276,429	301,200	400,974
国庫支出金	77,334	73,418	65,563
県支出金	34,551	30,641	32,226
地方債	0	0	0
その他	109,187	152,877	244,999
一般財源	55,357	44,264	58,186
人件費計	3,630	3,630	2,970
正規（人）	0.55	0.55	0.45
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	総合事業による訪問・通所サービス（旧来相当及び基準緩和型、住民主体型、短期集中）の実施と効果検証	総合事業による訪問・通所サービス（旧来相当及び基準緩和型、住民主体型、短期集中）の実施と効果検証	総合事業による訪問・通所サービス（旧来相当及び基準緩和型、住民主体型、短期集中）の実施と効果検証

# 事務事業評価シート（2/2）

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152015 高齢福祉課地域支援係  
事務事業 02697 介護予防・生活支援サービス事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
生活支援通所サービス利用者数（月平均）	人	40.00	40.00	40.00
		55.90	51.90	0.00
生活支援訪問サービス利用者数（月平均）	人	40.00	40.00	40.00
		48.00	45.40	0.00
住民主体の生活支援訪問サービス実施団体数	団体	8.00	10.00	10.00
		11.00	12.00	0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	介護保険法等で市が実施する事業とされています。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	高齢化の進行とともに今後ますますニーズが高まります。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標を上回る実績を上げています。		
4 効率性	事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事業の縦割りの解消と連動性の向上に取り組んでいます。		
5 公平性	事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市においても同様の事業を実施しています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	<p>日常生活に支障のある生活行為を改善し介護予防に取り組めるよう、リハビリの専門職の協力のもと短期間に集中して高齢者一人ひとりの状態に応じた支援を行いました。効果を高めるため、利用者をサービス終了後に地域の「通いの場」につなげるなど、活動的な生活が送れるように地域包括支援センター及び生活支援コーディネーターと連携して実施しています。</p> <p>高齢者の一人暮らしや認知症の増加が見込まれる中、一人ひとりが住み慣れた地域で自分らしく生活できるように健康意識の高揚を図る取組を継続していきます。</p>

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

17頁  
令和 5年 8月15日  
10時51分59秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001152015 高齢福祉課地域支援係

事務事業 02698 介護予防普及啓発事業

電話番号 0566-71-2264

## 【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	003	13 社会保障			
施策の方針	002	健康を考える生活			
事務事業	001	介護予防普及啓発事業			
事業期間	平成29年度～				
実施方法	直営				
会計区分	介護保険特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業	しごとづくり	マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	介護保険法第115条の45第1項第2号、地域支援事業実施要綱（厚生労働省）				
備考					

## 【事業分析】

対象	市民が、
目的	介護予防の必要性を理解し、実践することで、心身の健康を保ち、健康寿命を伸ばします。
手段	介護予防の必要性と効果などに関する情報提供を行い、体験する機会などを多くし、介護予防の普及啓発を図ります。
事務内容	啓発方法の検討、準備、実施、検証

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	749	1,289	5,462
事業費	353	893	1,370
国庫支出金	71	145	176
県支出金	44	91	110
地方債	0	0	0
その他	139	454	837
一般財源	99	203	247
人件費計	396	396	4,092
正規（人）	0.06	0.06	0.62
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	・地域包括ケアに関するまちかど講座の中で介護予防について説明 ・安城コミュニティブックの作成と配布	・地域包括ケアに関するまちかど講座の中で介護予防について説明 ・安城コミュニティブックの作成と配布	・地域包括ケアに関するまちかど講座の中で介護予防について説明 ・安城コミュニティブックの作成と配布

# 事務事業評価シート（2/2）

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152015 高齢福祉課地域支援係  
事務事業 02698 介護予防普及啓発事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
まちかど講座参加者数	人	100.00 124.00	100.00 166.00	100.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	介護保険法等で市が実施する事業とされています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	高齢者の増加に伴いフレイル予防の必要性が高まっています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	感染対策を実施しながら概ね計画どおり講座を開催できました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	適宜コミュニティブックの見直し等を行っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市においても同様の事業を実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	介護保険証送付用封筒等の裏面にフレイル予防に関する内容を記載するなど、無関心層への介護予防の普及啓発をしました。また、地域包括支援センターにおいても、チラシ等の作成や、地域で開催されているサロンなどに参加し、介護予防の普及啓発に尽力しました。 多くの高齢者が一定の健康状態を保ち、必要に応じサービスや支援を利用しながら自立した生活を送れるようこれからも一層啓発に力を注いでいきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート ( 1 / 2 )

19 頁  
令和 5 年 8 月 15 日  
10 時 51 分 59 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001152015 高齢福祉課地域支援係  
事務事業 02699 地域介護予防活動支援事業

電話番号 0566-71-2264

## 【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	004	きずな			
項目 ( 施策 )	003	1 3 社会保障			
施策の方針	005	高齢者の生きがいと地域生活			
事務事業	021	地域介護予防活動支援事業			
事業期間	平成 29 年度 ~				
実施方法	一部委託				
会計区分	介護保険特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業	しごとづくり	マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	介護保険法第 115 条の 4 第 1 項第 2 号、地域支援事業実施要綱 ( 厚生労働省 )				
備考	令和元年度から町内福祉委員会特別補助が移管され、地域介護予防活動支援事業の一部として実施しています。 平成 30 年度の事務事業見直しにより、令和元年度から高齢者地域生活支援促進事業を統合しました。				

## 【事業分析】

対象	高齢者が、
目的	地域で自主的に介護予防に取り組むことができます。
手段	福祉センターでの介護予防教室や町内会健康体操教室等、地域における介護予防活動を推進します。
事務内容	介護予防事業の社会福祉協議会への委託及び高齢者地域生活支援促進事業の実施

## 【コスト】

( 単位 : 千円 )

	令和 3 年度 決算額	令和 4 年度 決算額	令和 5 年度 予算額
トータルコスト	45,358	48,955	60,862
事業費	43,048	46,645	57,892
国庫支出金	8,610	7,592	7,444
県支出金	5,381	4,746	4,653
地方債	0	0	0
その他	17,004	23,675	35,371
一般財源	12,053	10,632	10,424
人件費計	2,310	2,310	2,970
正規 ( 人 )	0.35	0.35	0.45
その他経費	0	0	0

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
【事務事業活動実績】	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉センター・町内会等での介護予防事業</li> <li>高齢者地域生活支援促進事業 ( 一般介護予防 )</li> <li>町内福祉委員会特別補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉センター・町内会等での介護予防事業</li> <li>高齢者地域生活支援促進事業 ( 一般介護予防 )</li> <li>町内福祉委員会特別補助</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉センター・町内会等での介護予防事業</li> <li>高齢者地域生活支援促進事業 ( 一般介護予防 )</li> <li>町内福祉委員会特別補助</li> </ul>

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152015 高齢福祉課地域支援係  
事務事業 02699 地域介護予防活動支援事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
高齢者地域生活支援促進事業（一般介護予防）利用団体	団体	30.00	30.00	30.00
		35.00	43.00	0.00
町内福祉委員会特別補助 利用委員会数	委員会	40.00	40.00	40.00
		70.00	70.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	介護保険法等で市が実施する事業とされています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	高齢者の増加に伴いフレイル予防の必要性が高まっています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標を上回る実績を上げています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	委託事業と住民主体の活動が効果的に運営されています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市でも同じ趣旨の様々な取り組みが行われています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	各福祉センターにおいて介護予防講座を開催、町内公民館等にも体操講師等を派遣して筋力の維持向上のための体操や認知症予防のための指導等を行い、健康づくりへの意識高揚を図り要介護状態等になることを予防するよう取り組みました。 これからも生活支援コーディネーターやリハビリ専門職と協働しながら、介護予防活動の地域展開を進めていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。



# 事務事業評価シート（1/2）

21頁  
令和 5年 8月15日  
10時51分59秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152015 高齢福祉課地域支援係  
事務事業 02700 地域リハビリテーション活動支援事業

電話番号 0566-71-2264

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	003	13 社会保障			
施策の方針	005	高齢者の生きがいと地域生活			
事務事業	022	地域リハビリテーション活動支援事業			
事業期間	平成29年度～				
実施方法	全部委託				
会計区分	介護保険特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業	しごとづくり	マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	介護保険法第115条の45第1項第2号、地域支援事業実施要綱（厚生労働省）				
備考					

## 【事業分析】

対象	地域における介護予防を目的とした活動が、高齢者が、
目的	活発になります。 介護や支援が必要な状態になっても地域の活動に参加できるようになります。
手段	理学療法士、作業療法士が高齢者向けの地域活動等へ出向き、活動の担い手である住民へ介護予防に関する技術的な助言を行います。また、地域包括支援センターのプランナーの個別訪問に同行し、アセスメント支援を行います。
事務内容	県理学療法士会へ委託

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	2,313	2,276	5,118
事業費	1,125	1,088	1,950
国庫支出金	225	177	251
県支出金	141	110	157
地方債	0	0	0
その他	445	553	1,192
一般財源	314	248	350
人件費計	1,188	1,188	3,168
正規（人）	0.18	0.18	0.48
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	・理学療法士等による地域活動（サロン）への支援 ・理学療法士等によるケアマネ同行訪問	・理学療法士等による地域活動（サロン）への支援 ・理学療法士等によるケアマネ同行訪問	・理学療法士等による地域活動（サロン）への支援 ・理学療法士等によるケアマネ同行訪問

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

22 頁  
令和 5年 8月15日  
10時51分59秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152015 高齢福祉課地域支援係  
事務事業 02700 地域リハビリテーション活動支援事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
理学療法士等による地域活動等への支援回数	回	80.00 150.00	128.00 145.00	128.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	介護保険法等で市が実施する事業とされています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	サロンの担い手への支援が求められています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標を上回る実績を上げています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	専門職への委託事業として効果的に実施しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市においても同様の事業を実施しています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	地域の介護予防活動の担い手の育成や、支援を必要とする人への対応力の向上及び介護予防の取組みを強化するため、住民主体の「通いの場」へのリハビリ専門職等による助言等や関係機関との意見交換を実施しました。今後一層の高齢化が進む中で、住民やNPOなどによる主体的な介護予防活動が広がっていくように支援を強化していきます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

1頁  
令和 5年 8月15日  
10時50分34秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001152020 高齢福祉課介護保険係

事務事業 02654 介護サービス基盤整備事業

電話番号 0566-71-2290

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	003	13 社会保障		
施策の方針	005	高齢者の生きがいと地域生活		
事務事業	001	介護サービス基盤整備事業		
事業期間	平成15年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市特別養護老人ホーム整備費補助金交付要綱、安城市介護施設等整備事業費補助金交付要綱ほか			
備考				

## 【事業分析】

対象	介護保険施設利用が必要な要介護者が
目的	施設を利用できるようになります。
手段	特別養護老人ホームを整備する事業者に、安城市特別養護老人ホーム整備費補助金交付要綱に基づき、補助金を交付します。 地域密着型特別養護老人ホームや認知症対応型共同生活介護事業所（認知症高齢者グループホーム）などを整備する事業者に、安城市介護施設等整備事業費補助金交付要綱に基づき、補助金を交付します。
事務内容	事業者の公募・選定 補助金の交付事務

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	12,732	98,515	213,716
事業費	9,102	94,885	209,756
国庫支出金	0	6,546	11,374
県支出金	8,976	86,503	162,572
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	126	1,836	35,810
人件費計	3,630	3,630	3,960
正規（人）	0.55	0.55	0.60
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	特別養護老人ホーム（定員120人）設置運営事業者の公募及び選定 認知症対応型共同生活介護（定員18人）設置運営事業者の公募及び選定	特別養護老人ホーム（定員120人）設置運営事業者の進捗管理 認知症対応型共同生活介護（定員18人）設置運営事業者の公募及び選定	特別養護老人ホーム（定員120人）設置運営事業者の進捗管理 認知症対応型共同生活介護（定員18人）設置運営事業者の進捗管理

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

2 頁  
令和 5 年 8 月 15 日  
10 時 50 分 34 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001152020 高齢福祉課介護保険係  
事務事業 02654 介護サービス基盤整備事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
設置法人の公募・選定	回	2.00	1.00	0.00
		2.00	1.00	0.00
市内特別養護老人ホーム入所定員	人	578.00	578.00	698.00
		578.00	578.00	0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	保険者である市が設置運営者を公募、選定する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	特別養護老人ホーム待機者調査等を行い、ニーズを把握しています		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	運営事業者が決まり、令和 6 年 4 月に完成予定です。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	応募要件を定め、設置運営者を選定しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	西三河南部西圏域での必要性を協議し整備しています。		

## 【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント ( 4 0 0 文字 )	高齢者実態調査や特別養護老人ホーム入所待機者調査、介護保険サービス見込み量の推計等の結果を踏まえ、特別養護老人ホームの整備を図るとともに、住み慣れた地域での生活を継続できるよう支援するため、地域密着型サービスの基盤整備を次期計画にて検討していきます。

## 【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント ( 4 0 0 文字 )	本事業においては、2 次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

3頁  
令和 5年 8月15日  
10時50分35秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001152020 高齢福祉課介護保険係

事務事業 02655 介護サービス評価事業

電話番号 0566-71-2290

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	003	13 社会保障			
施策の方針	005	高齢者の生きがいと地域生活			
事務事業	002	介護サービス評価事業			
事業期間	平成18年度～				
実施方法	直営				
会計区分	介護保険特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	介護保険法				
備考					

## 【事業分析】

対象	介護保険サービス利用者が
目的	安心して介護サービスを利用できます。
手段	保険者として、市が介護サービス事業者に対し、サービス提供内容、介護給付費の請求等について指導・監督を実施し、安心して介護サービスを利用できる環境を整えます。
事務内容	介護保険事業者指導・監督

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	6,270	5,280	5,940
事業費	0	0	0
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	0
人件費計	6,270	5,280	5,940
正規（人）	0.95	0.80	0.90
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	市単独で行う介護サービス事業者実地指導の実施法人数（12法人）	市単独で行う介護サービス事業者運営指導の実施法人数（38法人）	市単独で行う介護サービス事業者運営指導の実施予定法人数（24法人）

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152020 高齢福祉課介護保険係  
事務事業 02655 介護サービス評価事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
市単独の介護サービス事業者運営指導	法人	30.00 12.00	22.00 26.00	22.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市に指定・指導権限があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	介護サービス事業所の適切なサービスが必要とされています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	新型コロナウイルスの影響により現地訪問が困難であったため。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事前に書類を提出してもらおう等、事務改善に取り組んでいます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体と同等の頻度で運営指導を行います。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	所管する介護事業者が増えてきているため、効率よく指導が行えるよう、事業者の選定や事前提出書類等を工夫をして、事業を行っていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート ( 1 / 2 )

5 頁  
令和 5 年 8 月 15 日  
10 時 50 分 35 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価

所属 0001152020 高齢福祉課介護保険係

事務事業 02656 介護保険情報提供事務

電話番号 0566-71-2290

## 【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	004	きずな			
項目 ( 施策 )	003	1 3 社会保障			
施策の方針	005	高齢者の生きがいと地域生活			
事務事業	003	介護保険情報提供事務			
事業期間	平成12年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	介護保険特会	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	介護保険法				
備考					

## 【事業分析】

対象	介護保険制度を知りたい市民が
目的	介護保険制度を理解しやすくなります。
手段	利用者が主体的に選択できるように、介護保険パンフレット、介護サービス事業者マップなどにより介護保険制度や介護サービスの適切な情報提供を行います。
事務内容	介護保険の手引きの発行、介護保険事業者マップの作成、市内介護保険事業者一覧表 ( 施設系・居宅系別 ) の作成、居宅介護支援事業所における計画作成状況、各ウェブサイト掲載 ( 市民向け、事業者向け )

## 【コスト】

( 単位 : 千円 )

	令和 3 年度 決算額	令和 4 年度 決算額	令和 5 年度 予算額
トータルコスト	3,476	3,419	3,355
事業費	1,496	1,439	1,375
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	1,496	1,439	1,375
一般財源	0	0	0
人件費計	1,980	1,980	1,980
正規 ( 人 )	0.30	0.30	0.30
その他経費	0	0	0

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
【事務事業活動実績】	介護サービス事業者マップ作成 部数 ( 2,000 部 ) 介護保険の手引き作成 部数 ( 10,000 部 ) 介護情報サイト	介護サービス事業者マップ作成 部数 ( 2,000 部 ) 介護保険の手引き作成 部数 ( 8,000 部 ) 介護情報サイト	介護サービス事業者マップ作成 部数 ( 2,000 部 ) 介護保険の手引き作成 部数 ( 5,000 部 ) 介護情報サイト

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

6 頁  
令和 5 年 8 月 15 日  
10 時 50 分 35 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001152020 高齢福祉課介護保険係  
事務事業 02656 介護保険情報提供事務

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
介護サービス事業者マ ップ作成部数	部	2,000.00	2,000.00	2,000.00
		2,000.00	2,000.00	0.00
介護保険の手引き作成 部数	部	10,000.00	8,000.00	5,000.00
		10,000.00	8,000.00	0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	利用者に介護保険制度の理解を深めていただくために行います。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	被保険者は年々増加しており、ニーズはあります。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	予定どおりの発行部数でした。		
4 効率性	事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	ウェブを活用し最新の情報を幅広く提供できるよう取り組みました。		
5 公平性	事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体と同水準のサービスを提供しました。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	介護保険制度は度重なる改正があり、市民が制度を理解することは容易ではありません。介護保険に関する最新の情報を提供し、利用者の介護保険制度の理解を深めてもらうことが必要です。また利用者が情報を得ることに より主体的にサービスを選択できるように引き続き適切な情報提供に努めます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。



# 事務事業評価シート（1/2）

7頁  
令和 5年 8月15日  
10時50分35秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152020 高齢福祉課介護保険係  
事務事業 02658 あんジョイプラン策定事業

電話番号 0566-71-2290

## 【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	003	13 社会保障			
施策の方針	005	高齢者の生きがいと地域生活			
事務事業	005	あんジョイプラン策定事業			
事業期間	平成12年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	介護保険特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	老人福祉法、介護保険法				
備考					

## 【事業分析】

対象	あんジョイプラン9（第8次高齢者福祉計画、第8期介護保険事業計画）が
目的	より市民のニーズに沿ったものとして策定されます。
手段	6年間で1期とする安城市の高齢者福祉計画、3年間で1期とする介護保険事業計画を策定します。
事務内容	高齢者実態調査の実施 計画策定委員会、計画策定幹事会、計画策定作業部会、懇話会（ティーミーティング）の開催 あんジョイプラン9の策定

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	660	11,561	12,339
事業費	0	6,611	4,750
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	6,611	4,750
一般財源	0	0	0
人件費計	660	4,950	7,589
正規（人）	0.10	0.75	1.15
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	・介護保険事業計画は3年に1回に改正されるため、今年度は具体的な調査、策定事務は行いません。	高齢者実態調査（アンケート）の実施 作業部会、幹事会、策定委員会の開催（10月・3月） 懇話会の開催（2・3月）	作業部会、幹事会、策定委員会の開催（10月・3月） 懇話会の開催（6月） パブリックコメントの実施（12月）

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001152020 高齢福祉課介護保険係  
事務事業 02658 あんジョイプラン策定事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
あんジョイプラン策定進捗率	%	100.00 100.00	40.00 40.00	100.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	法律により、市町村ごとに計画を策定することになっています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市民ニーズを把握した上で計画を策定しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	計画に定めた事業について、目標に掲げたとおり実施しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	計画内容の見直しを行っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市町村と同様に計画策定を行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	<p>あんジョイプランは、「老人福祉計画」「介護保険事業計画」を合わせた、高齢者福祉に関する重要な計画で、介護保険サービスや、介護保険対象外の事業の方向性を定めます。</p> <p>計画に定める事項としては、介護保険料の設定、介護予防・生活支援のための施策、認知症高齢者とその家族への支援などがあります。</p> <p>これらの策定のため、高齢者向けアンケートを実施したり、介護保険サービスの見込み量の推計を行います。</p> <p>計画の策定については、計画策定委員会の委員に意見を求め、適正な計画策定を進めていきます。</p> <p>令和4、5年度の2年度で次期計画を策定します。</p>

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	<p>本事業においては、2次評価を実施していません。</p>

# 事務事業評価シート ( 1 / 2 )

9頁  
令和 5年 8月15日  
10時50分35秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001152020 高齢福祉課介護保険係

事務事業 02659 あんジョイプラン推進事業

電話番号 0566-71-2290

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目(施策)	003	13 社会保障			
施策の方針	005	高齢者の生きがいと地域生活			
事務事業	006	あんジョイプラン推進事業			
事業期間	平成12年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	介護保険特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	介護保険法				
備考					

## 【事業分析】

対象	市民が
目的	健康で、生きがいを持って住み慣れた地域で安心して暮らせます。
手段	高齢者福祉計画、介護保険事業計画の進捗管理や運営を行い、介護保険事業等の円滑な推進を図ります。
事務内容	介護保険・地域包括支援センター運営協議会の開催 あんジョイプランの進捗管理

## 【コスト】

(単位:千円)

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	4,186	4,560	4,963
事業費	886	600	673
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	886	600	673
一般財源	0	0	0
人件費計	3,300	3,960	4,290
正規(人)	0.50	0.60	0.65
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	介護保険・地域包括支援センター運営協議会の開催(7月・1月・3月) あんジョイプランの進捗管理 必要に応じて苦情処理部会の開催(令和3年度は開催なし)	介護保険・地域包括支援センター運営協議会の開催(7月、3月) あんジョイプランの進捗管理 必要に応じて苦情処理部会の開催(令和4年度は開催なし)	介護保険・地域包括支援センター運営協議会の開催(7月、3月予定) あんジョイプランの進捗管理 必要に応じて苦情処理部会の開催

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001152020 高齢福祉課介護保険係  
事務事業 02659 あんジョイプラン推進事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
事業別計画達成率	%	70.00 31.30	80.00 43.80	80.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市策定のプランであり、他の事業主体が行うものではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	高齢者の増加に伴い、高齢者福祉に対する関心も高まります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	コロナウイルス感染症の影響により実施できない事業があるため。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	介護保険事業の P D C A サイクルに不可欠な事業です。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	全保険者が実施しています。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント ( 4 0 0 文字 )	適正な介護保険事業の運営のためには必要な事業であると考えます。あんジョイプランの進捗管理した結果を、次期計画にどれだけ反映させることができるかが課題です。給付分析の結果をもとに、検討していくことが必要です。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント ( 4 0 0 文字 )	本事業においては、2 次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート(1/2)

11頁  
令和5年8月15日  
10時50分35秒

評価年度 令和4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152020 高齢福祉課介護保険係  
事務事業 02660 介護サービス相談員派遣等事業

電話番号 0566-71-2290

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目(施策)	003	13 社会保障			
施策の方針	005	高齢者の生きがいと地域生活			
事務事業	007	介護サービス相談員派遣等事業			
事業期間	平成12年度～				
実施方法	直営				
会計区分	介護保険特会	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	安城市介護サービス相談員派遣事業要綱				
備考					

## 【事業分析】

対象	介護保険サービス利用者が
目的	十分な介護サービスを受けることができます。
手段	介護サービス相談員が利用者の意見を聞き、事業所との橋渡し役となり苦情を未然に防ぎます。
事務内容	介護サービス相談員派遣事業

## 【コスト】

(単位:千円)

	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額
トータルコスト	2,791	2,468	8,571
事業費	151	488	6,261
国庫支出金	58	188	2,408
県支出金	29	94	1,205
地方債	0	0	0
その他	29	94	1,205
一般財源	35	112	1,443
人件費計	2,640	1,980	2,310
正規(人)	0.40	0.30	0.35
その他経費	0	0	0

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
【事務事業活動実績】	介護サービス相談員が介護サービス事業者を訪問し、利用者との対話を通じて介護サービスの現状把握に努め、事業者との意見交換を行なうことによりサービスの質の向上を図ります。	介護サービス相談員が介護サービス事業者を訪問し、利用者との対話を通じて介護サービスの現状把握に努め、事業者との意見交換を行なうことによりサービスの質の向上を図ります。	介護サービス相談員が介護サービス事業者を訪問し、利用者との対話を通じて介護サービスの現状把握に努め、事業者との意見交換を行なうことによりサービスの質の向上を図ります。

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

12 頁  
令和 5 年 8 月 15 日  
10 時 50 分 35 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001152020 高齢福祉課介護保険係  
事務事業 02660 介護サービス相談員派遣等事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
派遣回数	回	160.00 0.00	160.00 18.00	160.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	県・国・民間では実施していないサービスです。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	介護サービス利用者は年々増加しておりニーズはあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	新型コロナウイルス感染症の影響で派遣回数が減少しました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	学習会・連絡会を開催し、事務改善に取り組んでいます。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	新型コロナウイルス感染症の影響で派遣回数が減少しました。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	サービス利用者の声を介護サービス相談員が直接聞くことで事業者と利用者の橋渡しが実施できており、利用者の安心感獲得やサービスの質向上につながるなど、サービス利用者や事業者から良い評価を得ているため、今後も継続します。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート ( 1 / 2 )

13頁  
令和 5年 8月15日  
10時50分35秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001152020 高齢福祉課介護保険係

事務事業 02661 介護事業者指導研修事業

電話番号 0566-71-2290

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目(施策)	003	13 社会保障			
施策の方針	005	高齢者の生きがいと地域生活			
事務事業	008	介護事業者指導研修事業			
事業期間	平成12年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	介護保険特会	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	介護保険法				
備考					

## 【事業分析】

対象	介護サービス利用者が
目的	介護サービス事業者から適正なサービスを受けることができます。
手段	介護サービス事業者が適正なサービスを提供できるように介護保険制度に関する情報を提供します。
事務内容	事業者連絡調整会議の開催

## 【コスト】

(単位:千円)

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	1,995	1,995	1,835
事業費	15	15	515
国庫支出金	6	6	198
県支出金	3	3	99
地方債	0	0	0
その他	3	3	100
一般財源	3	3	118
人件費計	1,980	1,980	1,320
正規(人)	0.30	0.30	0.20
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	事業者連絡調整会議の書面開催(3月)(新型コロナウイルス感染症の感染予防及び拡大防止の観点から資料を市ウェブサイトへ掲載しました)	事業者連絡調整会議の書面開催(8月・3月)(新型コロナウイルス感染症の感染予防及び拡大防止の観点から資料を市ウェブサイトへ掲載しました)	事業者連絡調整会議の書面開催(8月・3月)

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001152020 高齢福祉課介護保険係  
事務事業 02661 介護事業者指導研修事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
連絡調整会議の開催	回	2.00 1.00	2.00 2.00	2.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	地域密着型サービス等については市に指定・指導権限があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	介護サービスの質の向上のために必要です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	書面開催でしたが実施できませんでした。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	書面開催としたことで資料に対する質問を受付しました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体と比較して開催予定回数は同様となっています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	介護サービスの適正な運営のためには、研修・指導が不可欠であるため、事業の継続が必要であると考えます。また、介護サービスの質の向上及び適正な運営のため、虐待防止や介護保険実施指導の指摘事例を周知することで、効率よく指導に取り組むことが必要です。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。



# 事務事業評価シート ( 1 / 2 )

15 頁  
令和 5年 8月15日  
10時50分35秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152020 高齢福祉課介護保険係  
事務事業 02662 介護人材確保・資質向上事業

電話番号 0566-71-2290

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目(施策)	003	13 社会保障		
施策の方針	005	高齢者の生きがいと地域生活		
事務事業	009	介護人材確保・資質向上事業		
事業期間	平成21年度 ~			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市介護従事者就労支援事業補助金交付要綱			
備考				

## 【事業分析】

対象	介護サービス事業者に就職する人が
目的	費用負担が軽減されて就労しやすくなります。
手段	介護従事者の確保が難しい介護保険サービス事業所の人材確保のため、介護職員初任者研修を修了して、市内介護保険サービス事業所に介護従事者として就労した者に対し、予算の範囲内で補助金による支援を行います。
事務内容	介護従事者就労支援

## 【コスト】

(単位:千円)

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	1,070	1,590	2,300
事業費	80	270	980
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	420
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	80	270	560
人件費計	990	1,320	1,320
正規(人)	0.15	0.20	0.20
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	資質向上のために資格試験・研修を受講した法人及び介護従事者への補助金交付件数 目標: 10件 実績: 2件	資質向上のために資格試験・研修を受講した法人及び介護従事者への補助金交付件数 目標: 10件 実績: 7件	資質向上のために資格試験・研修を受講した法人及び介護従事者への補助金交付件数 目標: 10件

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001152020 高齢福祉課介護保険係  
事務事業 02662 介護人材確保・資質向上事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
就労支援補助	件	10.00 2.00	10.00 7.00	10.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	介護人材不足が深刻なため、市も取り組む必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	より高度な資格のニーズが高まっています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標おりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	補助制度の申請件数は増加しましたが目標を下回っています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	補助金申請がしやすくなるよう、制度の見直しを図っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	介護人材の確保のため、事業の拡充していく予定です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	安城市内の介護人材対策として、介護の資格取得、研修事業に関する補助金事業を継続実施していきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート ( 1 / 2 )

17 頁  
令和 5年 8月15日  
10時50分35秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152020 高齢福祉課介護保険係  
事務事業 02664 介護保険事業特別会計繰出事務

電話番号 0566-71-2290

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目(施策)	003	13 社会保障			
施策の方針	001	13 社会保障その他			
事務事業	026	介護保険事業特別会計繰出事務			
事業期間	平成12年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

## 【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	介護保険事業の総務費、介護保険給付費、地域支援事業費、低所得者軽減分として一般会計から介護保険事業特別会計に介護保険事業特別会計繰出金として繰出します。

## 【コスト】

(単位:千円)

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	1,677,892	1,715,791	2,035,498
事業費	1,673,602	1,713,481	2,032,858
国庫支出金	43,832	43,180	49,000
県支出金	21,907	21,590	24,500
地方債	0	0	0
その他	2,092	2,039	2,257
一般財源	1,605,771	1,646,672	1,957,101
人件費計	4,290	2,310	2,640
正規(人)	0.65	0.35	0.40
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	一般会計から介護保険事業に関する費用のうち市負担分を介護保険事業特別会計に繰出します。	一般会計から介護保険事業に関する費用のうち市負担分を介護保険事業特別会計に繰出します。	一般会計から介護保険事業に関する費用のうち市負担分を介護保険事業特別会計に繰出します。

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001152020 高齢福祉課介護保険係  
事務事業 02664 介護保険事業特別会計繰出事務

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	介護保険事業は市が保険者として適正に運営する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	高齢化に伴い、介護サービスが増加しています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	介護保険事業の健全運営のため、正確に事務を進めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	介護保険事業の実績に基づき適正に実施しています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	介護保険事業の適正な運営のため、介護保険事業の総務費、介護保険給付費、地域支援事業費、低所得者軽減分の実績に基づき、一般会計から介護保険事業特別会計に介護保険事業特別会計繰出金として繰出します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

1頁  
令和 5年 8月15日  
10時51分22秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001152030 高齢福祉課介護審査係

事務事業 02663 要介護認定事業

電話番号 0566-71-2257

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	003	13 社会保障			
施策の方針	005	高齢者の生きがいと地域生活			
事務事業	010	要介護認定事業			
事業期間	平成11年度～				
実施方法	直営				
会計区分	介護保険特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	介護保険法第14条～第17条、第27条～第39条				
備考					

## 【事業分析】

対象	要介護認定申請者が
目的	迅速かつ公平公正な認定を受けます。
手段	要介護・要支援認定申請者に対して、認定調査を行い、主治医意見書及び認定調査結果をもとに、介護認定審査会において審査判定を行い、「要支援1・2」「要介護1～5」「非該当」に分けて認定をします。
事務内容	介護認定等申請及び通知、介護認定調査及び介護認定調査員に関する事、主治医意見書に関する事、介護認定審査会に関する事、審査に関する不服苦情相談に関する事

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	113,275	119,842	135,910
事業費	80,275	86,842	102,910
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	80,275	86,842	102,910
一般財源	0	0	0
人件費計	33,000	33,000	33,000
正規（人）	5.00	5.00	5.00
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	介護認定審査会委員4 3人、介護認定審査会 216回、介護認定調 査員19人、認定申請 件数5,509件	介護認定審査会委員4 3人、介護認定審査会 225回、介護認定調 査員20人、認定申請 件数5,842件	介護認定審査会委員4 3人、介護認定審査会 237回、介護認定調 査員18人、認定申請 件数6,200件

# 事務事業評価シート(2/2)

2頁  
令和5年8月15日  
10時51分22秒

評価年度 令和4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152030 高齢福祉課介護審査係  
事務事業 02663 要介護認定事業

## 【定量評価】

上段:目標値 下段:実績値

指標名	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
申請から30日以内の認定率	%	80.00 47.14	80.00 20.60	80.00 0.00
審査請求の提出件数	件	0.00 0.00	0.00 1.00	0.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	法令の規定に基づく事務です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	法令の規定に基づく事務です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	容態急変による調査延期や主治医意見書提出遅延にて低下します。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	認定有効期間の延長等を取り入れ、効率化に努めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	法令の規定に基づく事務です。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続 要介護認定事業は、介護保険制度上欠くことのできない事業で、継続が必要です。
1次コメント (400文字)	

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施 本事業においては、2次評価を実施していません。
2次コメント (400文字)	

# 事務事業評価シート（1/2）

1頁  
令和 5年 8月15日  
10時52分49秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001152040 高齢福祉課介護給付係

事務事業 02665 介護保険償還金加算金事務

電話番号 0566-71-2226

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目（施策）	003	13 社会保障			
施策の方針	005	高齢者の生きがいと地域生活			
事務事業	011	介護保険償還金加算金事務			
事業期間	平成12年度～				
実施方法	直営				
会計区分	介護保険特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	介護保険法、介護保険法施行規則、安城市介護保険条例				
備考					

## 【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	保険料の還付過誤納に関する業務

## 【コスト】

（単位：千円）

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	6,409	7,283	8,732
事業費	3,175	3,983	5,432
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	3,175	3,983	5,432
人件費計	3,234	3,300	3,300
正規（人）	0.49	0.50	0.50
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	該当する第1号被保険者に通知を送付(3,499枚) 申請のあった第1号被保険者に保険料を還付(3,057件)	該当する第1号被保険者に通知を送付(3,676枚) 申請のあった第1号被保険者に保険料を還付(3,223件)	該当する第1号被保険者に通知を送付(3,000枚) 申請のあった第1号被保険者に保険料を還付(3,000件)

# 事務事業評価シート（2/2）

2頁  
令和 5年 8月15日  
10時52分49秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152040 高齢福祉課介護給付係  
事務事業 02665 介護保険償還金加算金事務

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	保険者（市町村）の事務とされています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	必要な人の申請漏れの防止につながります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事務量は増加傾向ですが、効率化に努めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	適正な規模を保っています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	第1号被保険者の増加により郵送料等の経費が上がっていますが、事務の見直しを随時行い事業の効率化に努めます。送付した還付通知書に対して還付請求のない該当者に対し、再度通知して還付未済をできるだけ防ぎ、適正な介護保険料管理を行っていきます

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。



# 事務事業評価シート ( 1 / 2 )

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001152040 高齢福祉課介護給付係

事務事業 02666 介護保険給付事務

電話番号 0566-71-2226

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目(施策)	003	13 社会保障			
施策の方針	005	高齢者の生きがいと地域生活			
事務事業	012	介護保険給付事務			
事業期間	平成12年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	介護保険特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	介護保険法、介護保険法施行規則、安城市介護保険条例				
備考					

## 【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	給付費支払に関する事務、住宅改修に関する業務、福祉用具購入・貸与審査支給業務、高額介護サービス費支給、高額合算支給業務

## 【コスト】

(単位:千円)

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	9,349,002	9,266,061	10,371,400
事業費	9,337,188	9,256,161	10,361,500
国庫支出金	1,737,651	1,793,659	2,023,192
県支出金	1,308,980	1,290,401	1,445,837
地方債	0	0	0
その他	3,688,096	3,656,091	4,092,793
一般財源	2,602,461	2,516,010	2,799,678
人件費計	11,814	9,900	9,900
正規(人)	1.79	1.50	1.50
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	住宅改修工事を行った方へ給付費の支給(484件) 特定福祉用具購入者へ給付費の支給(531件) 高額・高額医療合算介護サービス利用者への支給(16,176件)	住宅改修工事を行った方へ給付費の支給(468件) 特定福祉用具購入者へ給付費の支給(532件) 高額・高額医療合算介護サービス利用者への支給(15,231件)	住宅改修工事を行った方へ給付費の支給(500件) 特定福祉用具購入者へ給付費の支給(500件) 高額・高額医療合算介護サービス利用者への支給(15,000件)

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001152040 高齢福祉課介護給付係  
事務事業 02666 介護保険給付事務

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	保険者（市町村）の事務とされています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	必要な給付を行っています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事務量は増加傾向ですが、効率化に努めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	法令に則っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	第1号被保険者数・介護サービス利用者の増加により支払件数・金額は、全体的に増加傾向にありますが、事務の見直しを随時行い事業の効率化に努めます。引き続き、高額介護サービスの自動償還払いや住宅改修・福祉用具購入の受領委任払いを行う等で利用者の負担軽減を図ります。また高額合算支給事務について、他課との連携を図り誤りのないよう努めていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート ( 1 / 2 )

5 頁  
令和 5 年 8 月 15 日  
10 時 52 分 49 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001152040 高齢福祉課介護給付係  
事務事業 02667 介護保険利用者負担軽減事業

電話番号 0566-71-2226

## 【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画		
5 K の分類	004	きずな		
項目 ( 施策 )	003	1 3 社会保障		
施策の方針	005	高齢者の生きがいと地域生活		
事務事業	013	介護保険利用者負担軽減事業		
事業期間	平成12年度 ~			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的 / 政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減制度の実施について ( 平成 1 2 年厚生省通知 )			
備考				

## 【事業分析】

対象	生活困窮者が
目的	介護保険サービスを利用しやすくなります。
手段	低所得者で生計を維持することが困難な世帯の介護保険サービス利用者に対し、介護保険サービスの利用者負担額を軽減します。
事務内容	利用者負担軽減業務

## 【コスト】

( 単位 : 千円 )

	令和 3 年度 決算額	令和 4 年度 決算額	令和 5 年度 予算額
トータルコスト	6,914	5,825	6,035
事業費	446	545	755
国庫支出金	0	0	0
県支出金	106	134	186
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	340	411	569
人件費計	6,468	5,280	5,280
正規 ( 人 )	0.98	0.80	0.80
その他経費	0	0	0

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
【事務事業活動実績】	ホームヘルプサービス利用者負担軽減認定事務 (0 件) 利用者負担軽減認定事務 (10 件) 社会福祉法人利用者負担軽減認定事務 (49 件)	ホームヘルプサービス利用者負担軽減認定事務 (0 件) 利用者負担軽減認定事務 (16 件) 社会福祉法人利用者負担軽減認定事務 (61 件)	ホームヘルプサービス利用者負担軽減認定事務 (0 件) 利用者負担軽減認定事務 (10 件) 社会福祉法人利用者負担軽減認定事務 (40 件)

# 事務事業評価シート（2/2）

6頁  
令和 5年 8月15日  
10時52分49秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152040 高齢福祉課介護給付係  
事務事業 02667 介護保険利用者負担軽減事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
利用者負担軽減利用者数	人	10.00 10.00	10.00 15.00	10.00 0.00
社会福祉法人利用者負担軽減利用者数	人	25.00 22.00	25.00 29.00	25.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	保険者（市町村）の事務とされています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	必要な負担軽減を行っています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	予定通りに進捗しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事務量は増加傾向ですが、効率化に努めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	国の指針に則っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	低所得者で生計を維持することが困難な世帯の介護保険サービス利用者に対し、介護保険サービスの利用者負担額を軽減する必要があります。低所得者が適切な軽減制度の認定を受けられ、適正な介護保険サービスを利用できるように関係者等への周知を図っていきます。また、所得の確認が必要で、申請手続きには提出書類や確認事項が多いため、窓口で滞りなく行えるよう受付手順等、職員間の情報共有に努めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート(1/2)

7頁  
令和 5年 8月15日  
10時52分49秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001152040 高齢福祉課介護給付係

事務事業 02668 介護保険給付適正化事業

電話番号 0566-71-2226

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目(施策)	003	13 社会保障			
施策の方針	005	高齢者の生きがいと地域生活			
事務事業	014	介護保険給付適正化事業			
事業期間	平成12年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	介護保険特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	介護保険法				
備考					

## 【事業分析】

対象	介護サービス利用者が
目的	適切な介護サービスを利用できることになる
手段	<ul style="list-style-type: none"><li>国民健康保険団体連合会からサービス受給者に係る情報を受け取り、適切な介護サービスが提供されているか確認し、該当事務所等を指導します。</li><li>居宅事業所が作成するケアプランの点検指導を行い、ケアマネジャーの資質向上を図ります。</li><li>住宅改修及び福祉用具の現地調査を行い、改修工事及び福祉用具の利用状況の確認を行います。</li></ul>
事務内容	給付の適正化業務、住宅改修に関する業務、福祉用具購入・貸与審査支給業務、給付費適正化事務(ケアプラン点検)

## 【コスト】

(単位:千円)

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	8,778	6,600	6,600
事業費	0	0	0
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	0
人件費計	8,778	6,600	6,600
正規(人)	1.33	1.00	1.00
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	給付実績の集計(12回) 住宅改修の点検(実施) 医療情報との突合・縦 覧点検(12月)	給付実績の集計(12回) 住宅改修の点検(実施) 医療情報との突合・縦 覧点検(12月)	給付実績の集計(12回) 住宅改修の点検(実施) 医療情報との突合・縦 覧点検(12月)

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001152040 高齢福祉課介護給付係  
事務事業 02668 介護保険給付適正化事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
医療情報との突合・縦覧点検月数	月	12.00 12.00	12.00 12.00	12.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	保険者（市町村）の事務とされています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	給付の適正化は、保険料の適正化につながります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	予定通りに進捗しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事務量は増加傾向ですが、効率化に努めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	法令に則っています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント ( 4 0 0 文字 )	国民健康保険団体連合会からサービス受給者に係る情報を受け取り適切な介護サービスが提供されているか確認する必要があるため、毎月点検し、必要があれば事業所に自主点検・返還させることもあります。専門的知識が必要となるケアプランチェックについて、継続して担当職員に外部研修を受講させて人材育成を図り、他の職員にもスキルを横展開します。住宅改修の点検（現地調査）については、令和3年度から県の給付適正化計画の指標から住宅改修の現地調査件数が無くなったので、令和3年度以降は定量評価の指標としませんが、可能な限り実施していきます。利用者、サービス事業者ともに適正なサービスの利用、提供ができるよう給付費通知や国保連資料をもとに給付の適正化に取り組んでいきます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント ( 4 0 0 文字 )	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート(1/2)

9頁  
令和 5年 8月15日  
10時52分50秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001152040 高齢福祉課介護給付係

事務事業 02669 介護保険相談事業

電話番号 0566-71-2226

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目(施策)	003	13 社会保障			
施策の方針	005	高齢者の生きがいと地域生活			
事務事業	015	介護保険相談事業			
事業期間	平成12年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	介護保険特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	介護保険法				
備考					

## 【事業分析】

対象	介護保険被保険者及び家族が
目的	適切な介護サービスを利用できることになる
手段	・ 介護保険サービス利用者の苦情・相談を受け、サービス提供事業者への指導を行います。 ・ 種々の介護サービス事業者の会議に参加し、事業者に情報提供を行います。
事務内容	給付苦情相談、居宅届未提出者の調査

## 【コスト】

(単位:千円)

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	4,884	3,300	3,300
事業費	0	0	0
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	0	0	0
人件費計	4,884	3,300	3,300
正規(人)	0.74	0.50	0.50
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	居宅サービス計画未届者に対する調査(12月)	居宅サービス計画未届者に対する調査(12月)	居宅サービス計画未届者に対する調査(12月)

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001152040 高齢福祉課介護給付係  
事務事業 02669 介護保険相談事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
居宅サービス計画未届者調査月数	月	12.00 12.00	12.00 12.00	12.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	保険者（市町村）の事務とされています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	必要な人の申請漏れの防止につながります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	予定通りに進捗しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事務量は増加傾向ですが、効率化に努めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	適正な規模を保っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	引き続き、居宅届未提出者へのアンケートを行い、介護サービスが必要なのに利用につながない人を把握し、適切な介護サービスが受けられるように努めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。



# 事務事業評価シート(1/2)

11頁  
令和5年8月15日  
10時52分50秒

評価年度 令和4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001152040 高齢福祉課介護給付係

事務事業 02670 介護保険資格管理事務

電話番号 0566-71-2226

## 【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目(施策)	003	13 社会保障			
施策の方針	005	高齢者の生きがいと地域生活			
事務事業	016	介護保険資格管理事務			
事業期間	平成12年度～				
実施方法	直営				
会計区分	介護保険特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	介護保険法				
備考					

## 【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	資格管理業務

## 【コスト】

(単位:千円)

	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額
トータルコスト	7,698	12,462	14,392
事業費	4,794	5,202	7,132
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	4,794	5,202	7,132
一般財源	0	0	0
人件費計	2,904	7,260	7,260
正規(人)	0.44	1.10	1.10
その他経費	0	0	0

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
【事務事業活動実績】	第1号被保険者になった方への被保険者証交付(1,763枚) 住所地特例事務(139人) 資格喪失処理事務(1,748人)	第1号被保険者になった方への被保険者証交付(1,646枚) 住所地特例事務(151人) 資格喪失処理事務(1,859人)	第1号被保険者になった方への被保険者証交付(1,700枚) 住所地特例事務(130人) 資格喪失処理事務(1,800人)

# 事務事業評価シート（2/2）

12頁  
令和 5年 8月15日  
10時52分50秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152040 高齢福祉課介護給付係  
事務事業 02670 介護保険資格管理事務

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	保険者（市町村）の事務とされています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	適正な資格管理は、適正な制度運用につながります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事務量は増加傾向ですが、効率化に努めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	法令に則っています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	随時、事務の見直しをするなどして事業・事務の効率化を図り、また、窓口での資格喪失手続き等が滞りなく行えるよう努めます。特に、住所地特例者が関係する事務はミスが起こりやすいため、資格管理担当者と住所地特例担当者間の連絡シートを作成し、資格異動者の連絡もれ防止を図っています。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート(1/2)

13頁  
令和5年8月15日  
10時52分50秒

評価年度 令和4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001152040 高齢福祉課介護給付係

事務事業 02671 介護保険システム管理事務

電話番号 0566-71-2226

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目(施策)	003	13 社会保障			
施策の方針	005	高齢者の生きがいと地域生活			
事務事業	017	介護保険システム管理事務			
事業期間	平成12年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	介護保険特会	事業区分	経常的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

## 【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	介護保険システムの管理運用業務、制度改正によるシステム改修

## 【コスト】

(単位:千円)

	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額
トータルコスト	33,300	32,666	51,127
事業費	27,228	26,066	44,527
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	27,228	26,066	44,527
一般財源	0	0	0
人件費計	6,072	6,600	6,600
正規(人)	0.92	1.00	1.00
その他経費	0	0	0

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
【事務事業活動実績】	システム委託業者との定例会の開催(12回) 運用手順書の作成・更新(1回) システム動作確認(54回)	システム委託業者との定例会の開催(12回) 運用手順書の作成・更新(1回) システム動作確認(41回)	システム委託業者との定例会の開催(12回) 運用手順書の作成・更新(1回) システム動作確認(50回)

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001152040 高齢福祉課介護給付係  
事務事業 02671 介護保険システム管理事務

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1 必要性	国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	保険者（市町村）ごとに行う事務です。		
2 必要性	市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	介護保険制度を適正に実施するために必要な事務です。		
3 有効性	目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4 効率性	事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事務量は増加傾向ですが、効率化に努めています。		
5 公平性	事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	適正な規模を保っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	令和4年度は、自治体システムの標準化に対応する準備を進めましたが、移行できるのが令和7年度となったため、令和5年度は、システムを運用するサーバーの更新に合わせ、システムのバージョンアップを行います。また、令和6年4月に予定されている法改正対応を進めます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート(1/2)

15頁  
令和5年8月15日  
10時52分50秒

評価年度 令和4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001152040 高齢福祉課介護給付係

事務事業 02672 介護保険賦課徴収事務

電話番号 0566-71-2226

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目(施策)	003	13 社会保障			
施策の方針	005	高齢者の生きがいと地域生活			
事務事業	018	介護保険賦課徴収事務			
事業期間	平成12年度～				
実施方法	直営				
会計区分	介護保険特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健幸事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等	介護保険法、介護保険法施行規則、安城市介護保険条例				
備考					

## 【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	保険料の賦課業務、督促・催告書の発送事務、所得照会文書業務、納付書発送事務、徴収・時効・給付制限に関する業務

## 【コスト】

(単位:千円)

	令和3年度 決算額	令和4年度 決算額	令和5年度 予算額
トータルコスト	16,543	20,808	22,880
事業費	8,557	10,908	12,980
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	8,557	10,908	12,980
一般財源	0	0	0
人件費計	7,986	9,900	9,900
正規(人)	1.21	1.50	1.50
その他経費	0	0	0

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
【事務事業活動実績】	納入通知書発送事務(4,0650件) 催告事務(3回) 収納コールセンターの活用(12月)	納入通知書発送事務(4,1037件) 収納コールセンターの活用・催告(12月)	納入通知書発送事務(4,0000件) 収納コールセンターの活用・催告(12月)

# 事務事業評価シート（2/2）

16頁  
令和 5年 8月15日  
10時52分50秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001152040 高齢福祉課介護給付係  
事務事業 02672 介護保険賦課徴収事務

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	保険者（市町村）の事務とされています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	適正な賦課徴収は、被保険者間の負担の公平を保ちます。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事務量は増加傾向ですが、効率化に努めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	法令に則っています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	介護保険制度の安定運営の確保及び被保険者間の負担の公平性を保つため、介護保険料の適切な賦課業務を行うとともに、滞納者に対しては引き続き継続的な一斉滞納整理等を行い、収納率の向上に努めます。また、令和3年度から導入した収納コールセンターを活用して、年に3回単独で行っていた催告事務を、税や後期高齢者医療保険料とまとめて毎月行うこととしました。令和5年4月からはコンビニエンスストア納付・キャッシュレス決済を導入し、より納付しやすい環境を整備しています。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート ( 1 / 2 )

17頁  
令和 5年 8月15日  
10時52分50秒

評価年度 令和 4年度 進捗区分 1次評価

所属 0001152040 高齢福祉課介護給付係

事務事業 02673 介護給付費通知事業

電話番号 0566-71-2226

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	004	きずな			
項目(施策)	003	13 社会保障			
施策の方針	005	高齢者の生きがいと地域生活			
事務事業	019	介護給付費通知事業			
事業期間	平成15年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	介護保険特会	事業区分	義務的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

## 【事業分析】

対象	介護保険サービス事業者・居宅介護支援事業所及び介護保険施設が
目的	不正な請求により、不正な利益を上げるのを抑制できるようになる
手段	保険者が事業者に支払う給付の内容を、介護サービス利用者に通知書として送付し確認してもらいます。
事務内容	給付費通知に関する業務

## 【コスト】

(単位:千円)

	令和 3年度 決算額	令和 4年度 決算額	令和 5年度 予算額
トータルコスト	1,884	1,980	2,511
事業費	1,224	1,320	1,851
国庫支出金	471	508	713
県支出金	236	254	356
地方債	0	0	0
その他	236	254	356
一般財源	281	304	426
人件費計	660	660	660
正規(人)	0.10	0.10	0.10
その他経費	0	0	0

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
【事務事業活動実績】	介護給付費通知の発送 (4回)	介護給付費通知の発送 (4回)	介護給付費通知の発送 (4回)

# 事務事業評価シート ( 2 / 2 )

18 頁  
令和 5 年 8 月 15 日  
10 時 52 分 50 秒

評価年度 令和 4 年度 進捗区分 1 次評価  
所属 0001152040 高齢福祉課介護給付係  
事務事業 02673 介護給付費通知事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
介護給付費通知の発送	回	4.00 4.00	4.00 4.00	4.00 0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	保険者（市町村）が独自に行う事務です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	適正な給付につながります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	予定通りに進捗しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事務量は増加傾向ですが、効率化に努めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	適正な規模を保っています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	随時、事務の見直しをするなどして事業・事務の効率化を図り、また、窓口での資格喪失手続き等が滞りなく行えるよう努めます。特に、住所地特例者が関係する事務はミスが起こりやすいため、資格管理担当者と住所地特例担当者間の連絡シートを作成し、資格異動者の連絡もれ防止を図っています。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。